



# 白小だより



学校の教育目標  
『生き生きと行動する子』

## 「挨拶がよくなってきましたね！」

毎日、学校近くでオレンジのベストを着て子どもたちの安全見守りをしていただいている方が、今年度が始まって一週間ほどした頃にかけてくださった言葉です。…確かに！ 4月7日の初日より、10日の月曜日よりも、その後もどんどん、子どもたちの挨拶が「ステキ」になっていました。どうステキだったか？ 例えば「声の大きさ」例えば「声のトーン」。大きく明るくなってきました。大きな声を出すのが苦手な子は「視線を合わせて会釈」ができます。これもまたステキ。中には名前付きで挨拶できる子も。ステキ。

ステキになっていく理由はいくつもあると思います。「初日より慣れてきて挨拶する余裕が出てきた。」「新しい年度に慣れてきてより前向きな気持ちになってきた。」「挨拶する相手がいつもの相手だから挨拶しやすくなってきた。」「交通安全教室で教わった。」「班長・副班長さんの自覚が自信につながってきた。」などなど…。

ステキになると、誰もがうれしいし、楽しいです。ステキな場面は挨拶に限らずたくさんあると思いますが、この挨拶の場面でいえば、「ステキな挨拶された、うれしいなあ」→「挨拶したらうれしいって言われた、うれしいなあ」→「よくなっていくのを見るのってうれしいなあ」のように、うれしさや楽しさが広がっていくんです。ちょっとしたコツがあるような気がします。「顔がわかる関係」「いつものあの人」になることです。魚釣りや野鳥観察でもそうじゃないですか？ 定点からいつもの眼で見ると、わかる、ステキな変化。

白鳥小学校の職員も令和5年度のメンバーになりました。新メンバーも子どもたちとはだいぶ「顔がわかる関係」「いつものあの人」になってきました。継続勤務の職員ともども、子どもたちのステキをいっぱい見つけたいと思います。よろしくお祈りします。

子どもは未来そのものです。何年かで変わっていく教職員もずっといる地域のみなさんも、みんな子どもを（未来を）「よくなっていくのを見るのってうれしいなあ」と思って見れるようになるきっかけや場に、白鳥小学校がなれたら幸せです。

12年ぶりに白鳥小へ赴任しました 校長の村瀬眞実です。お世話になります。

「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」という仕組みに R3 年度から変わっています。この会の委員として未来そのものである子どもを核としてともに地域・学校づくりをするメンバーを公募中です。

白鳥小の通学路周辺で登校と下校の時刻に合わせて見守りをしてくださっている方の情報を集めています。把握できていけませんので少しでもやっつけてくださっている方は登録をお願いします。また、これからやってみていいよと思われる方、ぜひ登録を。  
一緒にうれしさを共有しませんか。

